

# 中学校・社会科・地理的分野・第2学年・日本の地域的特色と地域区分①

## 育成を目指す資質・能力

福島県提供

【知識・技能】 交通・通信網の今日的課題を理解し、統計資料や地図から、世界や日本の交通・通信網の発達や変化を読み取る・まとめる技能

【思考・判断・表現】 交通・通信網の発達による人々の生活の変化や諸課題について様々な地域スケールで考察し、自分の言葉でまとめる力

【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現に向けて、交通・通信網の諸課題について主体的に追究しようとする態度

## ICT活用のポイント

- ① 地理院地形図や写真、画像を提示することにより、東北中央自動車道の全線開通により福島市にどのような変化があるのかという問いをもたせる。
- ② 地域が発展するために大切なことを多面的・多角的に考察するために、ウェブ会議システムを活用して、高速道路開通による変化について、市役所職員から話を聞き、質問したり意見を述べたりする。専門家から直接話を聞くことで地域にみられる課題やその解決に向けた取組について理解を深めることができる。

① 動機付け

方向付け

情報収集

② 考察・構想

まとめ

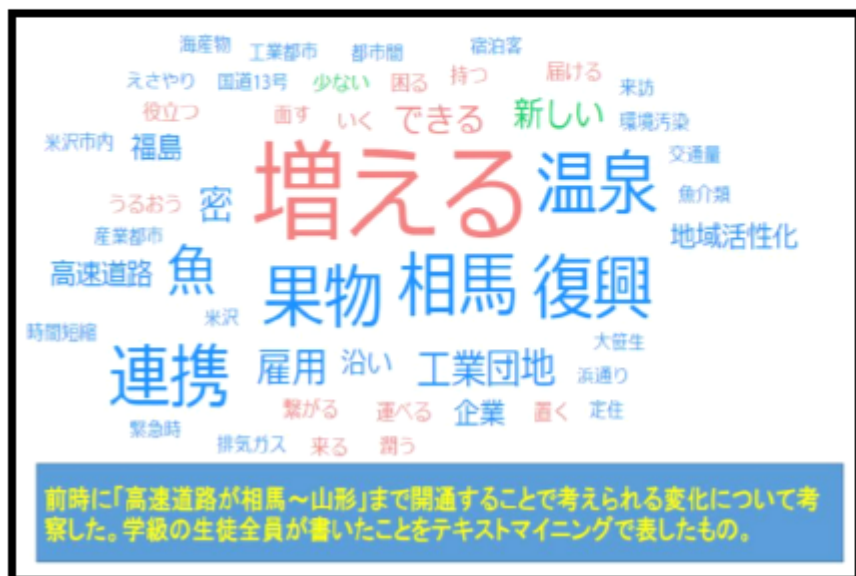
振り返り

## 事例の概要

- ① 福島県の地理院地図を提示することにより、高速道路の分布を視覚的に捉えることができるようにする。
- ① 写真を提示したり、整理・分析の画像を提示して前時の振り返りをしたりすることにより、自分たちの地域を通る東北中央自動車道の全線開通によって、福島市にどのような変化があるかという問いをもたせる。
- ② すでに高速道路が開通している他県の市役所職員とウェブ会議システムでつなぎ、高速道路が開通したことによる変化について新たな視点を提示してもらう。
- ② 市役所職員の話聞いて、考えたことをウェブ会議システムを活用して質問したり、意見を述べたりする。

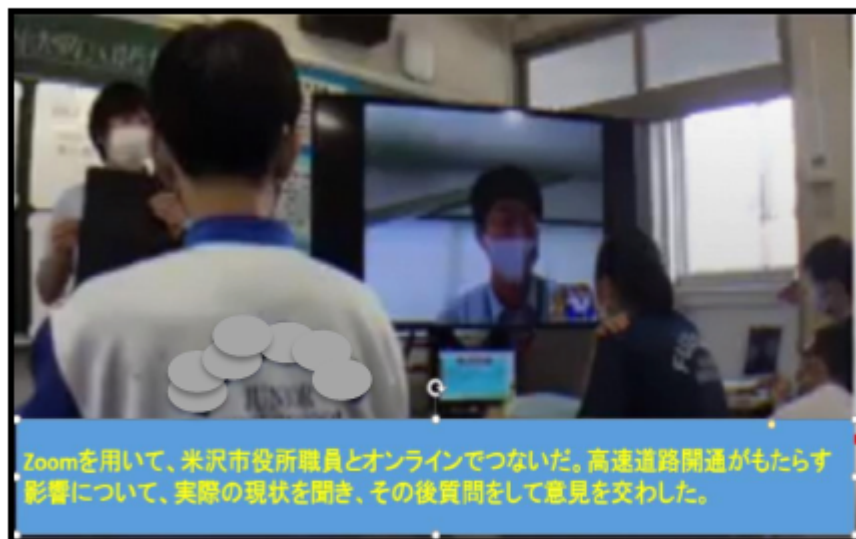
# 中学校・社会科・地理的分野・第2学年・日本の地域的特色と地域区分②

## 【事例におけるICT活用の場面①（動機付け・方向付け）】



- 授業の導入でICT機器を活用し、視覚的に資料を提示したり、考えを共有したりすることは、生徒の興味関心を高め、生徒一人一人に問いを持たせる上で効果的である。
- 活用に当たっては、すべてを提示してしまうのではなく、一部を隠したり、提示する部分を限定したりするなど工夫して、生徒が「あれ？」「どうして？」という疑問を抱いたり、「知りたい」「調べたい」という意欲をもったりすることができるようにする。

## 【事例におけるICT活用の場面②（考察・構想）】



Zoomを用いて、米沢市役所職員とオンラインでつないだ。高速道路開通がもたらす影響について、実際の現状を聞き、その後質問をして意見を交わした。

- 現在コロナウイルスの影響から校外学習等を実施することが難しくなっている。ICT機器を活用することにより、専門家から直接話をうかがえることは生徒にとって大変貴重な学びとなる。
- 活用に当たっては、講師となる方に話をさせていただく内容について事前に打合せを行う必要がある。また、一方的に話を聞くだけでなく、双方向のやりとりができるように生徒からの質問時間を設定するとともに、質問事項の整理など事前準備を行って聞き取り調査によって情報を収集する技能を身に付けさせる。
- 本事例を発展させることにより、他校や世界中の人々と簡単につながるができる。